

こ　こ　が　聞　き　た　い

一般質問

今定例会の一般質問は、19人の議員が登壇し、行政運営について市長及び教育委員長の考えを質しました。

質問、答弁の要旨を掲載します。（文責は質問議員）

○震災復旧事業と地震対策について
○平泉世界遺産登録を見据えた観光振興について



さとう　いく　お夫
佐藤　郁夫

質問 東日本大震災における奥州市内の農地被害は1406件と甚大な被害となっております。この復旧について、激甚災害指定で復旧費の90%以上は補助であるが、調査設計費の補助がないため工事費の15%（最低10万円）は農家負担となっており、農家の負担が大変大きいものとなっております。調査設計費の補助について、市単独補助も含め対応出来ないか伺います。また、地震対策として指定避難所の公共施設の耐震調査の現状について伺います。

市長 調査設計費について、農家負担の軽減を図るべく、県、国に対し強く要望しております。市単独の補助については制度として確立すべく今後検討していきます。なお、今回の災害による調査設計費の農家負担の軽減についても検討していきます。指定避難所は179ヶ所あり、耐震調査の必要があるのは71ヶ所で30ヶ所が実施済

みです。指定避難所の耐震調査については出来るだけ早期に実施いたします。

質問 平泉の世界文化遺産登録はイコモス勧告を受け登録は確実視されております。世界文化遺産登録を見据え、白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡の追加登録の考え方と平泉を中心とした奥州市を含む広域観光ルートの確立について伺います。

市長 白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡の追加登録は国も追加登録の方針なので、暫定リストに登録させるべく最大限の努力をしていきます。広域観光ルートの確立は、平泉世界遺産登録記念講演会や東北



説明する奥州市世界遺産ガイドの会（白鳥館遺跡）

復興イベントに合わせた、旅行商品の企画や奥州藤原氏初代清衡公に関係のある江刺区を旅程に組み入れた商品開発等を実施します。平泉世界遺産登録キャンペーンとして東京、大阪、仙台を中心に特産品の販売や旅行エージェントを対象とした誘客キャンペーンを実施し、広域観光ルートの確立に努めていきます。

○東日本大震災の復興について
○介護保険第5期計画策定について



せき　しょう　こ
関　笙子

質問 東日本大震災では奥州市も甚大な被害を受けました。市の対応が遅いとの声もありますが、一日も早い復興を願うものですが、被災者支援と対策について伺います。

市長 前沢温泉舞鶴の湯復興については地元業者に発注すべく対応しております。入札設計が残り7月着工の運びとなっております。お物見公園の地割れ発生に伴い下小路住民の皆様は二次災害の心配が出ております。サイレンの設置や避難状況等について地元説明会を開催し進めている所です。家屋